



受賞部門

育児・介護休業制度充実部門



医療法人社団 北原脳神経外科病院

取組内容

1 職員専用保育園の設置

育児休業取得後、安心して職場復帰を容易にするための支援として、病院という不規則な勤務をする職員でも利用可能な、職員専用保育園「さくらんぼ保育園」を設置した結果、積極的に育児休業を取得する職員が増えてきた。

【背景】

元々、女性職員が多かったが、育児休業後、子供を預けて働くことが困難という理由で、退職する職員が出てきた。

【特長・工夫】

- 女性従業員の要望に合わせて柔軟に対応可能。
- 敷地内に保育園があることから、安心して子供を預けることができ、いつでも子供の様子を見に行くことが可能。
- 日曜・祝日なども、職員の勤務があれば保育を受け入れることが可能。これだけ柔軟な保育が可能となるのは、保育士の工夫と努力にあります。
- 病児保育や夜間保育、休日保育にも対応。
看護師や放射線技師などの夜勤労働者、子供の健康が理由で休みがちな母親のために、病児保育や夜間保育へ可能な限り対応している。また幼稚園バス停への送り迎えなども行っている。

実績

- 保育人数 計48人(在園中・退園した子供の合計)
- 病児保育の延べ人数 370人
(H17年度109人、H18年度123人、H19年度94人、H20年度8月まで44人)
- 夜間保育延べ人数 406人
(H17年度47人、H18年度126人、H19年度143人、H20年度8月まで90人)



- 保育園のスタッフは全員、病院の職員
職員が直接採用面接をした保育士を常勤採用しているので、安心して子供を預けることができる。
- 病院内の厨房で調理した食事を提供しており、栄養面にも配慮している。



2 フレックスタイム制度・時短勤務の積極的利用

互いの勤務をカバーするために、フレックスタイム制度による体制づくりを整えている。

- 月々決められた時間を働けば、常勤扱いとして雇用する制度を採用し、朝早く夜遅い外来診療の現場では、従業員がお互いに仕事を分担しながら業務を行っている。

【従業員の意見の聴取方法】

- プロジェクト翼
職員であれば、新人・経験者問わず、誰でも自由に理事長へ提案できるシステムを導入している。新人スタッフからの提案で年間行事委員会を設立したり、働く母親の視点からの提案もあるなど、提案の大小に関わらず、幅広く意見を取り入れている。
- 電子会議室の設置
匿名で職員同士が意見交換できるよう、イントラネット上に電子会議室を設置している。日頃疑問に思ったり、他の職員の意見を聞いてみたいことがあれば、誰でも投稿することができる。
- 人事考課制度の導入
職員をそれぞれの等級に分け、適切に能力を評価する人事考課制度を導入している。各個人の状況にあわせた目標設定を行い、勤務の組み方などについても配慮できるよう、面談の機会を設けている。